

いなまは

24号

発行日
令和3年3月

題 字
たじま荘利用者
松岡千恵子 さま



忘年会フラダンス (たじま荘)



もちつき (ことぶき苑)



新年会 (たじま荘)



節分 (ことぶき苑)



絵手紙教室 (たじま荘)

目次

所長挨拶	2
トピックス 1	3
たじま荘の近況	4~5
ことぶき苑の近況	6~7
トピックス 2	8

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団

■ 特別養護老人ホーム たじま荘
〒669-5365 兵庫県豊岡市日高町十戸455
TEL (0796) 44-1730 FAX (0796) 43-4333

■ 養護老人ホーム ことぶき苑
〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布1304
TEL (0796) 42-0430 FAX (0796) 42-0517

「利用者様の命と暮らしを守るために」

たじま荘所長 上田 あゆみ

日頃はたじま荘の運営に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。新型コロナウイルスの感染予防のため、面会自粛・オンライン面会にご協力いただきありがとうございます。社会福祉施設は、一人ひとりのその人らしい暮らしを叶える場所である。そしてそこに勤める職員は、社会に必要な不可欠な仕事を担うエッセンシャルワーカーとして利用者様の生活を支えています。「感染を防ぎ、命を守る対策」と「利用者様の生活の維持」のバランスを

図りながら、令和三年度、取り組んでいきます。利用者様のご様子につきましましては、ホームページやフェイスブックなどで発信していきます。これからも、感染予防に努めながら、利用者様が笑顔で元気に過ごしていただけるように職員一丸となって取り組み、ご家族との面会が普通に出来る日々を願うばかりです。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「あたたかさに触れる」

昨年はたいへんな1年となりました。今年は少しでも明るい兆しが見えることを期待します。

さて、今シーズンは大雪（と言っても昔であれば大したことない）に見舞われました。ことぶき苑では昨年12月に6時間もの間停電となりました。平成16年の台風以来の長時間の停電でした。「寒い。暗い。」不安の中、利用者様の方はいたって落ち着いている状況でしたが、職員はバタバタでした。「ストーブ、ランタン、電池を買おう」とホームセンターへ走りまわりました。そんな中、近隣の職員からストーブの貸し出し、隣の作業

ことぶき苑所長 堂垣 春水

所からもストーブ2台を貸してもらいました。

また、デイサービスかららん舎の利用者様をお迎えに行った時の話です。2人の利用者様に乗ってもらったあと、雪道で車がスタックしてしまいました。見かねた近隣の住民の方が雪かきの応援をしてくださいました。職員だけではどうしようもない状況から脱することができました。施設だけでは解決できないことを、地域住民の方に助けられて運営していることを改めて感じる事がこの冬は多かったです。少し気持ちが前向きになれるぞ。

★ノーマルリフティング・ケア 研修を実施中



推進チームの指導の下、利用者様の安全・安心なケアの実現と、職員の介護負担を軽減するため、施設内研修を通じてノーマルリフティング・ケアを浸透させていきます。

★おせち料理

正月の雰囲気を少しでも感じていただくよう、3日はお正月メニューを提供しました。彩りも良く、バラエティーに富んだ食事に利用者様は満足された様子でした。



★認知症研修（回帰法）を行いました

回想法とも呼ばれる認知症リハビリテーションの手法です。懐かしい遊びや昔の玩具を使って語り合うことで、気持ちの安定やコミュニケーションの活性化につながれば、と考えています。



門松を作っていました

寒風の中、ことぶき苑付近に在住の方々によって、高さ2メートルを超える門松が出来上がりました。

正月の縁起物として、両施設の玄関に飾らせていただきました。



環境を整備していただきました

たじま荘家族会様のご協力によって、施設へ通じる道路に被さっていた木の枝を伐採していただきました。

これまで悪かった視界が開けて運転しやすくなり、また景観も良くなりました。



避難訓練

マイクを握る職員は、真剣そのもの。

利用者様も職員もサイレンの音には、緊張感が走りました。



新型コロナウイルスへの対策を行いました

緊急包括支援事業を活用して、温水機能付きの手洗い場や汚物専用のプレハブ庫、また顔認証温度感知機やアルコール噴霧器、空気清浄機などを設置しました。

これからも新型コロナウイルスだけでなく、あらゆる感染症の侵入を防止するよう努めます。



月の郷



たじま荘の近況

月の郷では、12月に利用者様と職員が協力してクリスマスケーキを作りました。苺をカットしたり、盛り付けをして楽しい時間を過ごされました。出来上がったケーキを見て、「かわいいサンタさんができた」「おいしそう」「食べるのがもったいない」などの感想が聞かれました。感染症対策で出来ることは限られていますが、今後も利用者様の楽しみとなる催しを行っていききたいと思います。

森の郷



森の郷では、12月に両隣保の利用者様が集まって、忘年会を実施しました。おいしそうな料理や、楽しく和やかな雰囲気を楽しまれて、利用者様の笑顔が多く見られました。感染症対策で出来ることは限られていますが、今後も利用者様の楽しみとなる行事やレクリエーションなど、いろいろ企画していききたいと思います。



花の郷



花の郷では、11月にユニット調理でおはぎとお汁粉を作りました。皆さん若い頃を思い出し、楽しそうに調理に取り組まれ、出来上がったおはぎはとても美味しいと好評でした。また、12月にはクリスマスや正月に備えてツリーへの飾りつけと餅花作りを行いました。皆さん、普段では見られないくらい笑顔を見せられ、とても盛り上がりました。今後も、いろいろな行事などに取り組み、皆さんの活気ある表情を見たいと思っています。



利用者様が多く集まって実施する行事が困難ななか、星の郷ではユニット調理を毎月行っています。積極的に参加され、とても手際良く、いつも笑顔でいっぱいです。旬の食材で季節を感じてもらい、その後はみんなで美味しく頂きます。これからも、利用者様の笑顔あふれる星の郷であるように頑張ります。

写真は「スイートポテト」作りの風景です。



バイキング料理をいただきました。寿司や刺身・デザートなど、たくさんの料理の中から選び、いつもより嬉しそうで、たくさんお召し上がりになっていました。

昨年は今までにない大変な年でしたが、今年は早く普通の生活に戻り、より良い年となりますように、願いを込めて書初めを行いました。



虹の郷



利用者様の活動や行事に制限があるなか、虹の郷では毎月のユニット調理や虹歌クラブの他にも、書道や昔懐かしい遊び、福笑いの作成、施設内へ貼りだした神社に見立てた掲示への初詣など、楽しみながら季節感も味わっていただきました。今後も利用者様の楽しみの機会を作り、これまでどおりの生活ができるようになったら、もっともっと元気に活動していただけるよう支援したいと思います。

かんらん舎

いつも感染予防にご協力ありがとうございます。かんらん舎でも感染症対策を徹底して、安心してご利用いただけるようにしています。楽しみ、生きがいとなる活動を毎日行っております。



金魚

夏まつりの金魚すくいの金魚がこんなに大きくなりました。今では利用者様の癒しの空間になっています。

コムス

トヨタからお借りしている1人乗り乗用車「コムス」です。狭い場所でもすいすいと走ります。



日高東中学出前講座

2年生の生徒さんに『介護の仕事って楽しい』をテーマに介護の仕事の紹介、ことぶき苑の施設紹介、車いすの実技体験を行いました。また、アンケートでは「介護の仕事をやりたい」との意見もあり、授業してよかったと感じています。



クリスマス会を行いました

利用者の皆さん、くじ引きはとても楽しそうでした。
お寿司もとても好評でした。



ツリー
飾りつけ



クリスマス
バイキング



クリスマス
ケーキ作り





山ぼうし

今年は山ぼうしをはじめ、ご家庭でも感染予防に力を入れて頂いたため、風邪等の病気が極めて少なかったと感じました。引き続き予防対策を行いながらも、心温まるサービスの提供を目指したいと思います。写真は「敬老会二人羽織り（職員と利用者様）」と「真剣な表情で数字を探すクリスマスビンゴ大会」、まるこカフェスペースを利用した貼り絵の展示会です。

正月プレゼントを渡しました

たじま荘家族会様のご協力により、今年も利用者様の皆さまへご希望の商品をお渡ししました。



膝掛けや枕などのほかに、お菓子やお酒をもらわれた方もおられました。

地域からの頂き物披露

地元の方々から色々なものをいただきました。

小学校からいただいたクリスマスカードは、利用者様へ配りました。

マスクと大根はたじま荘とことぶき苑両方にいただき、大根はおでんに、マスクは万が一の際に備えて保管しています。



facebook を開設して3年になります

フォロワーが増えてきました。皆さん、つながりましょう!!



コロナには
負けません!

1泊2食6,800円~
※65歳以上(平日)

浜坂温泉保養荘
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
☎0796-82-3645まで



雪のたじま荘

年末から雪がよく降り、人力での除雪では追いつきません。ことぶき苑では停電が発生し、また自宅の停電が何日も続いた職員もいました。

編集後記

「渦」や「鍋」ではなく、「禍」という漢字を頻繁に目にします。『よるこばしくない事柄、不幸を引き起こす原因』という意味だそうで、「災い」とほぼ同じ意味で使われています。でも、「災い」は防ぎようのない天災、「禍」は人々の努力と工夫で防ぐことができる事象や被害です。

「禍を転じて福となす」「禍福は糾える縄の如し」

「禍」を克服するために、世界中の心がひとつになることを願うばかりです。



森のはん屋さんひまわり
無料のコーヒーと
焼きたてパンを販売中
皆様のお越しをお待ちして
います
営業時間
月～木 10:00～17:00
金 10:00～15:00